

平成28年度「全国標準学力検査(NRT)」結果の概要

1 検査の目的

学習指導要領に基づいて学習指導を行った結果として身につけた「確かな学力」(児童生徒が身に付けた基礎的・基本的な力や活用する力)を全国的学力水準と比較して相対的に把握・分析することにより、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、各学校における児童生徒の今後の学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 検査期日及び対象

- ・平成28年4月中旬(震災のため、1校のみ4月15日実施分を5月16日実施)
- ・中学校第1学年～第3学年 小学校は新学力検査へ移行

3 検査方式及び実施状況

(1) 前学年の学習内容について実施

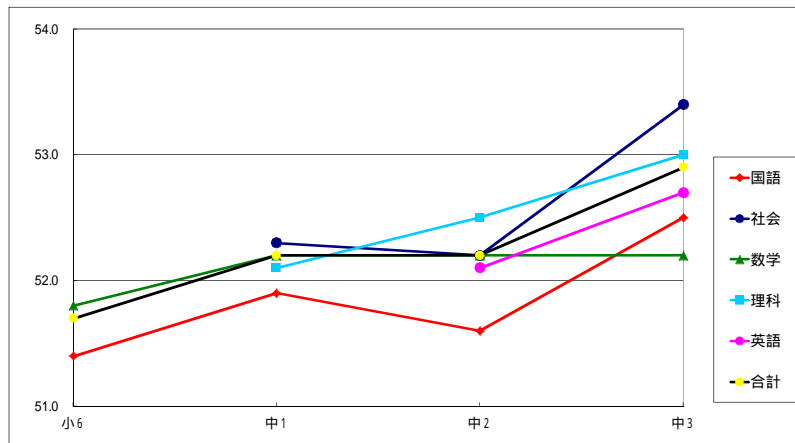
(2) 中学校は5教科(国語・社会・数学・理科・英語)を実施

中学校第1学年は英語を除く

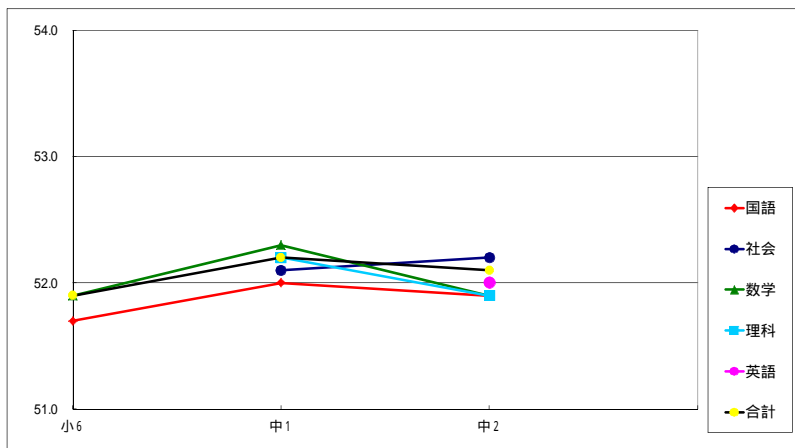
(3) 該当する学年は全員受検

平成28年度 学力偏差値 経年推移(小学校6年生からのあゆみ)

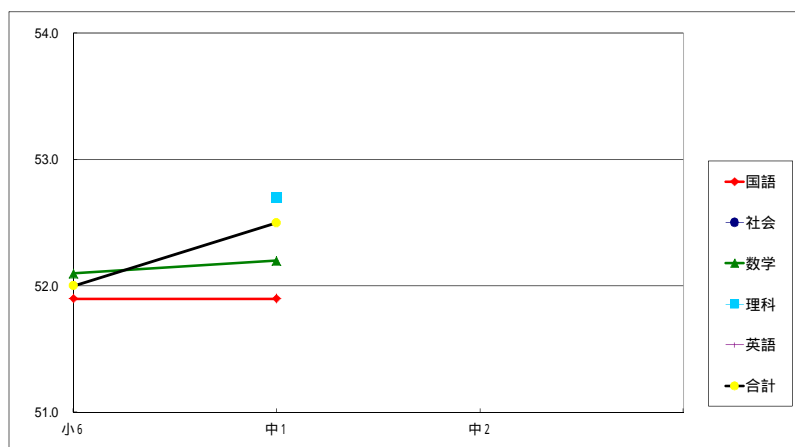
現 中学3年生(中2の学力)				
	小6	中1	中2	中3
国語	51.4	51.9	51.6	52.5
社会		52.3	52.2	53.4
数学	51.8	52.2	52.2	52.2
理科		52.1	52.5	53.0
英語			52.1	52.7
合計	51.7	52.2	52.2	52.9



現 中学2年生(中1の学力)				
	小6	中1	中2	
国語	51.7	52.0	51.9	
社会		52.1	52.2	
数学	51.9	52.3	51.9	
理科		52.2	51.9	
英語			52.0	
合計	51.9	52.2	52.1	



現 中学1年生(小学6の学力)				
	小6	中1		
国語	51.9	51.9		
社会		52.7		
数学	52.1	52.2		
理科		52.7		
英語				
合計	52.0	52.5		



【全体】

上昇傾向であるが、2年(中1の内容定着)については、伸び悩みがみられる。

【現中学3年生】

全教科とも全国標準(50.0)を上回っている。
経年推移は、国語、社会、理科、英語は上昇傾向にある。

【現中学2年生】

全教科とも全国標準(50.0)を上回っている。
経年推移は、数学、理科は下降している。

【現中学1年生】

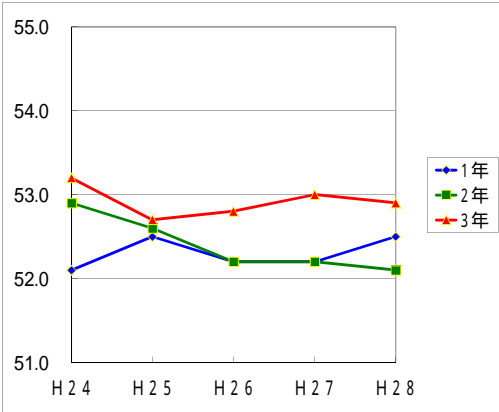
全教科とも全国標準(50.0)を上回っている。
経年推移は、国語、数学(算数)ともに、ほぼ変化はみられない。

【注意】教科合計の学力偏差値は、個人の学力偏差値を平均して算出する際に四捨五入するため、教科合計の方が各教科より高くなる場合があります。

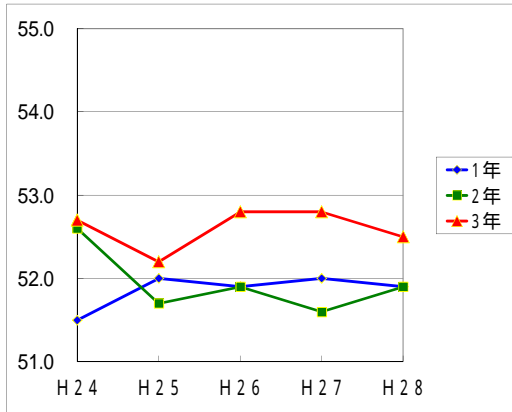
平成28年度 市内学力偏差値 年度比較 (中学校 5年間分)

前学年の学習内容について実施しています。
 中学1年は、小学校6年生の学習内容となります。

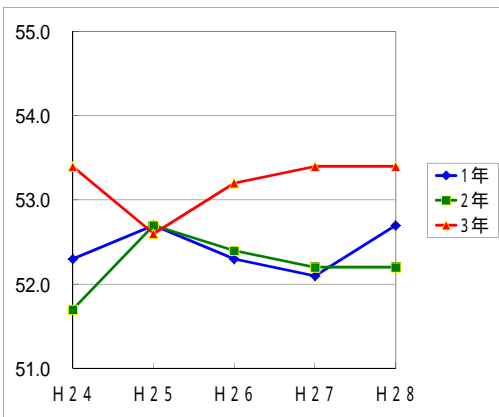
全 体					
実施年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
1年	52.1	52.5	52.2	52.2	52.5
2年	52.9	52.6	52.2	52.2	52.1
3年	53.2	52.7	52.8	53.0	52.9



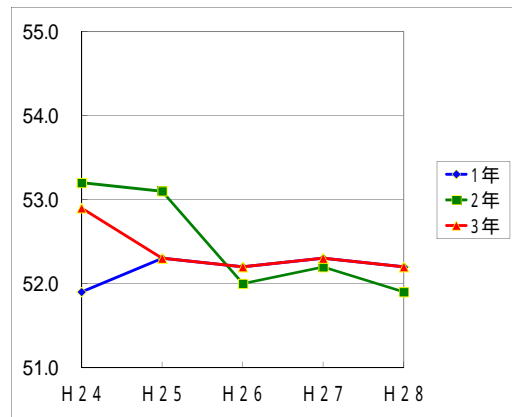
国 語					
実施年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
1年	51.5	52.0	51.9	52.0	51.9
2年	52.6	51.7	51.9	51.6	51.9
3年	52.7	52.2	52.8	52.8	52.5



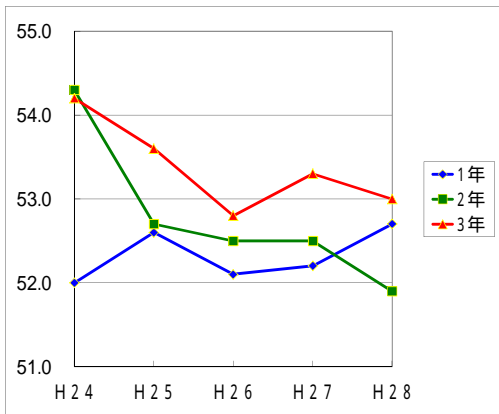
社 会					
実施年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
1年	52.3	52.7	52.3	52.1	52.7
2年	51.7	52.7	52.4	52.2	52.2
3年	53.4	52.6	53.2	53.4	53.4



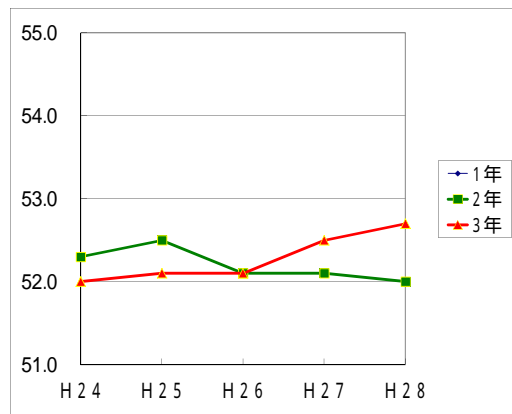
数 学					
実施年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
1年	51.9	52.3	52.2	52.3	52.2
2年	53.2	53.1	52.0	52.2	51.9
3年	52.9	52.3	52.2	52.3	52.2



理 科					
実施年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
1年	52.0	52.6	52.1	52.2	52.7
2年	54.3	52.7	52.5	52.5	51.9
3年	54.2	53.6	52.8	53.3	53.0



英 語					
実施年度	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
1年					
2年	52.3	52.5	52.1	52.1	52.0
3年	52.0	52.1	52.1	52.5	52.7



【全体】

過去5年間、全ての学年が偏差値52.0以上である。
 2年は、H26まで下降傾向だったが、以降は、ほぼ横ばいである。
 1年は、横ばいだったが、本年度は上昇している。

【各教科】

社会、英語の3年と、理科の1年は上昇傾向である。
 社会の1年は、下降傾向だったが、本年度は上昇している。
 社会、数学、理科、英語の2年は下降傾向である。

【注意】教科合計の学力偏差値は、個人の学力偏差値を平均して算出する際に四捨五入するため、教科合計の方が各教科より高くなる場合があります。

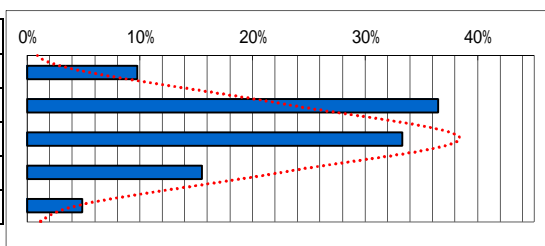
平成28年度 熊本市における学力の状況(中学校1年)

(1) 4教科計

(熊本市 52.5)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	65～	629	9.8%
4	やや高い	55～64	2349	36.5%
3	全国標準	45～54	2146	33.3%
2	やや低い	35～44	1001	15.5%
1	低い	～34	315	4.9%

6440

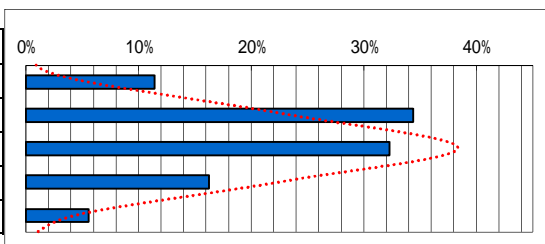


(2) 国語

(熊本市 51.9)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	65～	739	11.4%
4	やや高い	55～64	2223	34.4%
3	全国標準	45～54	2087	32.3%
2	やや低い	35～44	1052	16.3%
1	低い	～34	360	5.6%

6461

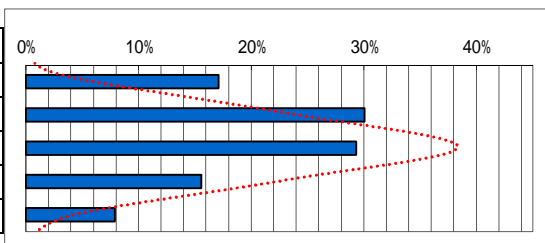


(3) 社会

(熊本市 52.7)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	65～	1105	17.1%
4	やや高い	55～64	1943	30.1%
3	全国標準	45～54	1894	29.3%
2	やや低い	35～44	1005	15.6%
1	低い	～34	508	7.9%

6455

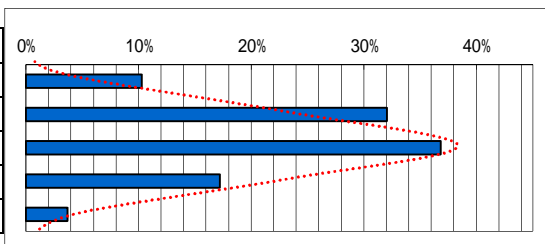


(4) 数学

(熊本市 52.2)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	65～	662	10.3%
4	やや高い	55～64	2066	32.0%
3	全国標準	45～54	2374	36.8%
2	やや低い	35～44	1109	17.2%
1	低い	～34	238	3.7%

6449

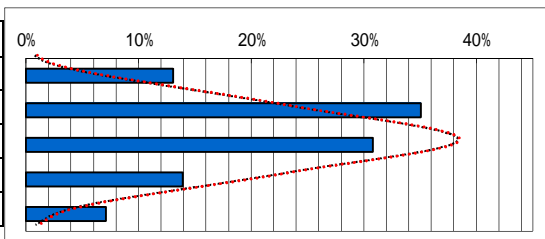


(5) 理科

(熊本市 52.7)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	65～	846	13.1%
4	やや高い	55～64	2267	35.1%
3	全国標準	45～54	1993	30.8%
2	やや低い	35～44	900	13.9%
1	低い	～34	459	7.1%

6465



1 総合

学力偏差値の平均値は52.5で、全国標準(50.0)に比較して、やや高い状況である。

1～5の各段階の分布のようすは、全国と比較して、4の段階の生徒が多い状況である。

2 各教科

学力偏差値の平均値は、全教科とも全国標準(50.0)に比較して、やや高い状況である。

1～5の各段階の分布のようすは、全教科ともに、全国と比較して、5及び4の段階の生徒が多く、特に国語、理科の4段階、国語、社会、数学、理科の5段階が多く、理科の2段階と数学の1段階が少ない状況である。

【注意】教科合計の学力偏差値は、個人の学力偏差値を平均して算出する際に四捨五入するため、教科合計の方が各教科より高くなる場合があります。

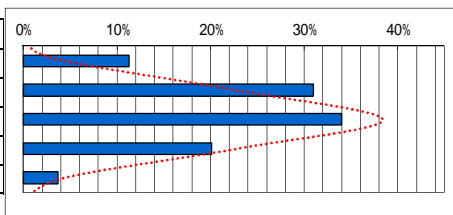
平成28年度 熊本市における学力の状況(中学校2年)

(1) 5教科計

(熊本市 52.1)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	6.5～	726	11.3%
4	やや高い	5.5～6.4	1994	31.0%
3	全国標準	4.5～5.4	2188	34.0%
2	やや低い	3.5～4.4	1295	20.1%
1	低い	～3.4	238	3.7%

6441

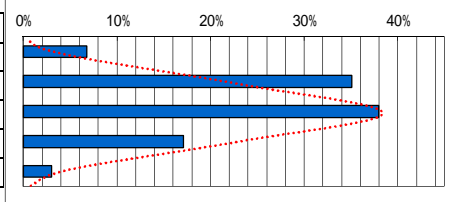


(2) 国語

(熊本市 51.9)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	6.5～	438	6.8%
4	やや高い	5.5～6.4	2278	35.1%
3	全国標準	4.5～5.4	2462	38.0%
2	やや低い	3.5～4.4	1111	17.1%
1	低い	～3.4	197	3.0%

6486

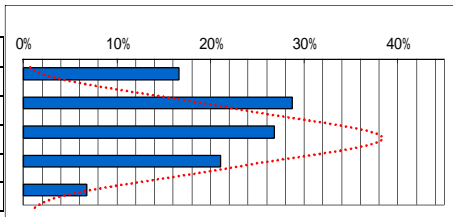


(3) 社会

(熊本市 52.2)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	6.5～	1075	16.6%
4	やや高い	5.5～6.4	1863	28.8%
3	全国標準	4.5～5.4	1735	26.8%
2	やや低い	3.5～4.4	1364	21.1%
1	低い	～3.4	440	6.8%

6477

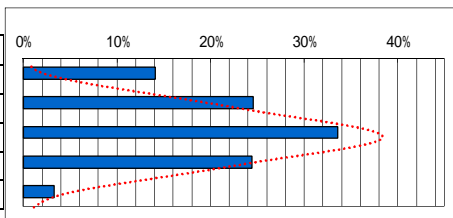


(4) 数学

(熊本市 51.9)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	6.5～	913	14.1%
4	やや高い	5.5～6.4	1591	24.6%
3	全国標準	4.5～5.4	2174	33.6%
2	やや低い	3.5～4.4	1580	24.4%
1	低い	～3.4	212	3.3%

6470

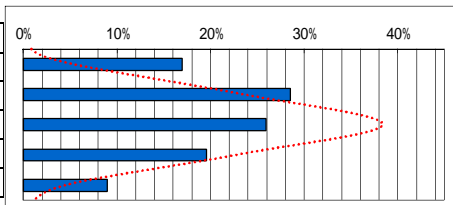


(5) 理科

(熊本市 51.9)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	6.5～	1099	16.9%
4	やや高い	5.5～6.4	1852	28.6%
3	全国標準	4.5～5.4	1683	25.9%
2	やや低い	3.5～4.4	1270	19.6%
1	低い	～3.4	582	9.0%

6486

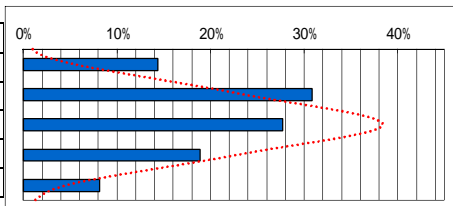


(6) 英語

(熊本市 52.0)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	6.5～	932	14.4%
4	やや高い	5.5～6.4	1997	30.9%
3	全国標準	4.5～5.4	1793	27.7%
2	やや低い	3.5～4.4	1223	18.9%
1	低い	～3.4	526	8.1%

6471



1 総合

学力偏差値の平均値は52.1で、全国標準(50.0)に比較して、やや高い状況である。

1～5の各段階の分布のようすは、全国と比較して、5の段階が多く、1の段階の生徒が少ない状況である。

2 各教科

学力偏差値の平均値は、全教科とも全国標準(50.0)に比較して、やや高い状況である。

1～5の各段階の分布のようすは、全教科ともに、全国と比較して、5と4をあわせた段階の生徒が多く、特に国語の4段階、社会、数学、理科、英語の5段階の生徒が多い状況である。また、国語、数学の1段階の生徒が少ない状況である。

【注意】教科合計の学力偏差値は、個人の学力偏差値を平均して算出する際に四捨五入するため、教科合計の方が各教科より高くなる場合があります。

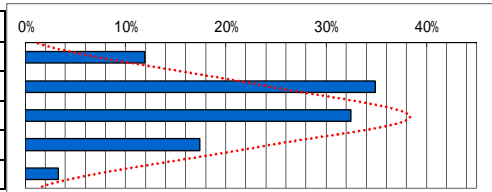
平成28年度 熊本市における学力の状況(中学校3年)

(1) 5教科計

(熊本市 52.9)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	65～	756	11.9%
4	やや高い	55～64	2213	34.9%
3	全国標準	45～54	2060	32.5%
2	やや低い	35～44	1103	17.4%
1	低い	～34	208	3.3%

6340

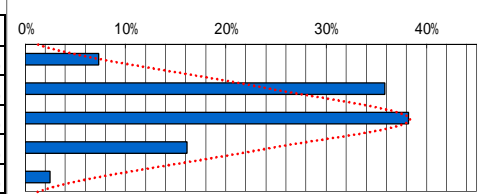


(2) 国語

(熊本市 52.5)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	65～	469	7.3%
4	やや高い	55～64	2296	35.9%
3	全国標準	45～54	2448	38.2%
2	やや低い	35～44	1032	16.1%
1	低い	～34	158	2.5%

6403

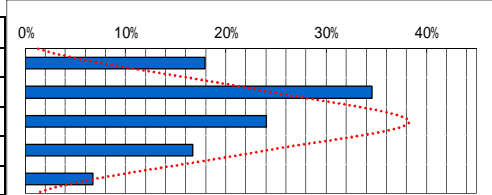


(3) 社会

(熊本市 53.4)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	65～	1144	17.9%
4	やや高い	55～64	2210	34.6%
3	全国標準	45～54	1536	24.0%
2	やや低い	35～44	1067	16.7%
1	低い	～34	432	6.8%

6389

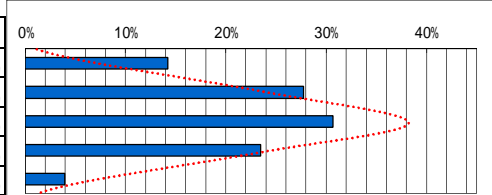


(4) 数学

(熊本市 52.2)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	65～	907	14.2%
4	やや高い	55～64	1772	27.8%
3	全国標準	45～54	1956	30.6%
2	やや低い	35～44	1497	23.5%
1	低い	～34	250	3.9%

6382

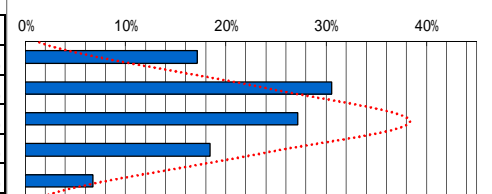


(5) 理科

(熊本市 53.0)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	65～	1098	17.1%
4	やや高い	55～64	1956	30.5%
3	全国標準	45～54	1741	27.2%
2	やや低い	35～44	1179	18.4%
1	低い	～34	433	6.8%

6407

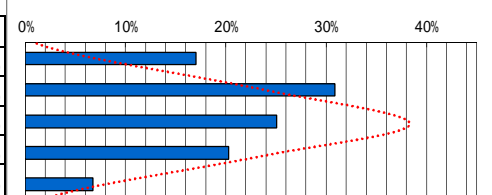


(6) 英語

(熊本市 52.7)

段階	評語	偏差値	合計	割合
5	高い	65～	1087	17.0%
4	やや高い	55～64	1974	30.9%
3	全国標準	45～54	1601	25.1%
2	やや低い	35～44	1297	20.3%
1	低い	～34	432	6.8%

6391



1 総合

学力偏差値の平均値は52.9で、全国標準(50.0)に比較して、やや高い状況である。

1～5の各段階の分布のようすは、全国と比較して、5及び4の段階が多く、1の段階が少ない状況である。

2 各教科

学力偏差値の平均値は、全教科とも全国標準(50.0)に比較して、やや高い状況である。

1～5の各段階の分布のようすは、全教科ともに、全国と比較して、5と4をあわせた段階の生徒が多く、特に国語、社会の4段階、社会、数学、理科、英語の5段階の生徒が多い状況である。また、国語と数学の1段階の生徒が少ない状況である。

【注意】教科合計の学力偏差値は、個人の学力偏差値を平均して算出する際に四捨五入するため、教科合計の方が各教科より高くなる場合があります。